

平成28年第1回八千代町議会定例会会議録（第2号）

平成28年3月8日（火曜日）午前9時06分開議

本日の出席議員

議長（9番）	大久保 武君	副議長（2番）	国府田利明君
1番	増田 光利君	3番	大里 岳史君
4番	廣瀬 賢一君	5番	大久保弘子君
6番	上野 政男君	7番	中山 勝三君
8番	生井 和巳君	10番	水垣 正弘君
11番	小島 由久君	12番	宮本 直志君
13番	大久保敏夫君	14番	湯本 直君

本日の欠席議員

なし

---

説明のため出席をしたる者

町 長	大久保 司君	副 町 長	生井 光男君
教 育 長	高橋 昇君	会 計 管 理 者	上野 真一君
秘 書 課 長	谷中 聰君	総 務 課 長	鈴木 一男君
企画財政課長	青木 良夫君	税 務 課 長	野村 勇君
町 民 課 長	塚原 勝美君	福祉保健課長	相田 敏美君
生活環境課長	内山 博君	産業振興課長	青木 喜栄君
都市建設課長	生井 俊一君	上下水道課長	柴森 米光君
農 業 委 員 会 事 務 局 長	秋葉三佐男君	教 育 次 長 兼 学 校 教 育 課 長	水書 正義君
公 民 館 長 兼 生 涯 学 習 課 長	青木 和男君	給食センター 所 長	鈴木 忠君
総 務 課 参 事	生井 好雄君	企 画 財 政 課 参 事	中村 弘君

---

議会事務局の出席者

議会事務局長	高野 実	補 佐	小林 由実
--------	------	-----	-------

主 任 田神 宏道

---

議長（大久保 武君） 引き続きご参集くださいます、まことにありがとうございます。

ただいまの出席議員数は14名であります。よって、定足数に達しておりますので、これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

（議長が了承を求めた議事日程は次のとおり）

議 事 日 程 （第2号）

平成28年3月8日（火）午前9時開議

- 日程第1 議案第18号 平成28年度八千代町一般会計予算  
議案第19号 平成28年度八千代町国民健康保険特別会計予算  
議案第20号 平成28年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算  
議案第21号 平成28年度八千代町介護保険特別会計予算  
議案第22号 平成28年度八千代中央土地区画整理事業特別会計予算  
議案第23号 平成28年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算  
議案第24号 平成28年度八千代町下水道事業特別会計予算  
議案第25号 平成28年度八千代町水道事業会計予算

（提案理由の説明）

（関係課長の概要説明）

（質疑、各常任委員会付託）

日程第2 休会の件

---

議長（大久保 武君） 傍聴人の方に申し上げます。

地方自治法第130条第1項並びに八千代町議会傍聴規則第11条の規定により、会議を妨害する行為があった場合には退場を命ずることがありますので、あらかじめご注意申し上げます。

---

- 日程第1 議案第18号 平成28年度八千代町一般会計予算  
議案第19号 平成28年度八千代町国民健康保険特別会計予算  
議案第20号 平成28年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算  
議案第21号 平成28年度八千代町介護保険特別会計予算  
議案第22号 平成28年度八千代中央土地区画整理事業特別会計予算  
議案第23号 平成28年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算  
議案第24号 平成28年度八千代町下水道事業特別会計予算  
議案第25号 平成28年度八千代町水道事業会計予算

議長（大久保 武君） 日程第1、議案第18号 平成28年度八千代町一般会計予算、議案第19号 平成28年度八千代町国民健康保険特別会計予算、議案第20号 平成28年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算、議案第21号 平成28年度八千代町介護保険特別会計予算、議案第22号 平成28年度八千代中央土地区画整理事業特別会計予算、議案第23号 平成28年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算、議案第24号 平成28年度八千代町下水道事業特別会計予算、議案第25号 平成28年度八千代町水道事業会計予算、以上8件を一括議題といたします。

朗読を省略して、提案理由の説明を求めます。

町長。

（町長 大久保 司君登壇）

町長（大久保 司君） ただいま一括上程されました議案第18号 平成28年度八千代町一般会計予算、議案第19号 平成28年度八千代町国民健康保険特別会計予算、議案第20号 平成28年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算、議案第21号 平成28年度八千代町介護保険特別会計予算、議案第22号 平成28年度八千代中央土地区画整理事業特別会計予算、議案第23号 平成28年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算、議案第24号 平成28年度八千代町下水道事業特別会計予算、議案第25号 平成28年度八千代町水道事業会計予算の提案理由をご説明申し上げます。

最初に、平成28年度町政運営方針を述べたいと思います。

ここに平成28年第1回八千代町議会定例会の開会に当たり、町政を担う責任者として、町政運営に関する所信の一端とそれらを具体化する施策の概要について申し述べます。

今、我が国の経済は、アベノミクスがスタートしてから、一時、消費税の引き上げにより景気回復力に弱さが見られた時期もありましたが、原油価格の下落の影響などもあ

り、景気は緩やかな回復基調が続いております。また、日本は、世界に先駆けて「人口の急減や超高齢社会」を迎えていることから、各地域がそれぞれ特徴を生かした自律的で持続的な社会を創生できるよう、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、28年度からは本格的に各施策に取り組んでいくこととなります。

また、県においても、三位一体改革により、平成16年度から地方交付税等の急激かつ大胆な削減が行われ、これが本県財政悪化の大きな要因となっております。税収については、回復の兆しはあるものの、目標としているリーマンショック以前の水準まで回復していない状況となっていることから、依然として県の財政は危機的な状況が見込まれ、さまざまな課題を抱えています。

本町におきましても、一般財源のうち町税が微増の傾向にあるものの、地方交付税が大幅に削減されることなどに加え、医療・福祉関係経費や特別会計への繰出金等が増加していることなどから、引き続き厳しい財政運営となっております。

このような厳しい状況を乗り切るため、町の指針として示した「八千代町第4次行政改革大綱」及び「八千代町第3次行財政集中改革プラン」のもと、全庁総力を挙げて歳入歳出の両面から思い切った見直しを行うとともに、国で打ち出した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の趣旨に沿って、さまざまな分野での施策を展開してまいります。

本町に隣接する古河名崎工業団地に日野自動車が進出してしておりますが、平成29年度の工場の本格稼働に向け、現在急ピッチで工場の建設が進められております。今後も県な県開発公社と密接に連携をしながら、本町の地理的な優位性を生かして日野自動車関連企業等の誘致及び町内定住促進を図り、雇用の創出と税収の確保を目指してまいります。

全国的な人口減少や少子高齢化の急速な進行、長期的な景気低迷と地方財政の悪化など、社会経済状況が大きく変化している中で、町民と行政の協働による自立したまちづくりを積極的に進めていくために、町民と行政のパートナーシップのもと、「人・地域とともに輝く 協働のまち 八千代」を目指し、八千代町第5次総合計画の着実な推進を図ってまいります。

平成28年度の主な施策につきましては、第5次総合計画に掲げた事業について、投資効果、緊急度等を勘案し、限られた財源の配分に努めたところでありますが、主要な施策につきましては、第5次総合計画の施策体系に基づいて、順次申し上げます。

主な施策の第1は、健康・福祉の充実であります。

誰もが、住みなれた地域で、生涯にわたって健やかに、生きがいを持って、安心して暮らすことができるまちを目指してまいります。

健康で元気なまちづくりについては、町民誰もが生涯にわたり健康で元気に暮らすことができるよう、町民一人一人がみずから取り組む健康づくり活動を支援してまいります。

疾病の早期予防や早期発見、感染予防を図ってまいります。なお、平成28年度も子宮頸がん予防接種、肺炎球菌予防接種、ヒブ予防接種等に対する補助を引き続き行い、また、インフルエンザ予防接種については補助を増額して行ってまいります。

町民誰もが身近な地域で適切な医療が受けられるよう、診療所については、老朽化している放射線機器の更新を行うとともに、病院・診療所・その他保健医療機関の連携強化を進め、診療体制の充実を図ってまいります。

次世代を担う子どもを守り、育むまちづくりについては、結婚を望む若者が希望を実現し、安心して子どもを産み育てられるよう、家庭や関係機関、地域社会が一体となった結婚・子育て支援を推進してまいります。

平成27年度3月に策定いたしました「八千代町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、幼稚園、保育園に関する事業を積極的に推進してまいります。

また、子育て支援事業として、病児や乳児に対する保育事業など、多様な保育ニーズに対応できる施策や、わかりやすい子育て支援情報を発信する「子育て支援情報発信強化事業」など、支援体制の充実を図ってまいります。

さらに、少子化対策事業として、第3子以上を出産した家庭に対する出産子育て奨励金の支給のほか、不妊治療助成事業や子育てガイドブック配布事業など「妊娠・出産への支援」、いばらき出会いサポートセンター会員登録の推進や婚活イベントへの助成など「結婚支援活動の支援」を行ってまいります。

みんなで支えるやすらぎのまちづくりについては、町民誰もが、住みなれた地域の一員として、ふれあいを通じて、生涯安心して暮らし続けることができるよう、ともに支え合う地域福祉まちづくりを推進してまいります。

高齢者が住みなれた地域で、心身ともに健康で、いきいきと自立した人生を送れるよう、介護予防や介護する家族の支援、生きがい対策など、認知症への対応、在宅医療の推進などに取り組み、きめ細やかな福祉の体制づくりに取り組んでまいります。

障がい者が安心していきいきと生活が送れるよう、自立を支援してまいります。また、

一人一人のニーズに合った質の高い介護サービスや介護予防サービスを提供してまいります。

安定した生活のできるまちづくりについては、社会保障制度への理解を深めるとともに、国民健康保険制度、後期高齢者医療制度、国民年金制度、介護保険制度、医療福祉制度、生活保護制度の適切な運用に努めてまいります。

平成26年度より中学3年生まで対象を拡大した子どものマル福制度により、引き続き子育て世帯への支援を図ってまいります。

また、平成28年度においても国の事業である「臨時福祉給付金支給事業」の実施により、高齢者、障がい者等への支援を図ってまいります。

主な施策の第2は、生活環境・都市基盤の整備であります。

誇れる豊かな自然環境と共生し、安全・快適に暮らすことができるまちを目指してまいります。

安心・安全に暮らせるまちづくりについては、火災等の災害から町民を守り、安心・安全な暮らしを確保できるよう、消防力の強化、救急業務の高度化を図り、災害の未然防止や被害の軽減とともに、防災施設・体制の強化に努めてまいります。平成28年度も、引き続き消防団員用装備品の充実を図るとともに、防災備蓄品の整備や防水貯水槽の補修を行ってまいります。

また、防犯体制の強化を図るため、公共施設や町内主要交差点への防犯カメラの設置を行ってまいります。

自然豊かな住みよいまちづくりについては、町民の憩い・ふれあいの場としての役割はもとより、防災機能を兼ね備えた安心・安全な空間を確保するため、既存公園の維持管理に努め、有効活用を図ってまいります。

今後、公共の福祉を優先に、自然環境の保全を図りながら、合理的・計画的に秩序ある土地利用を推進してまいります。特に、市街化区域では、住居系は土地区画整理事業による良好な整備、非住居系では、新たな工業系用地の確保を目指してまいります。

土地区画整理事業の早期完成に努め、また、移住者への情報提供や転入者への支援、空き家の利活用の推進などにより、移住・定住化を促進し、人口の定着を図ってまいります。

快適で便利に暮らせるまちづくりについては、将来の世代へ継承できる快適な環境づくりの実現に向けて、住民主導によるごみの減量化やリサイクルの推進など、循環型社

会の形成に努めてまいります。

また、引き続き自然エネルギーの積極的活用を図り、地球温暖化防止及び環境保全意識を高揚するため、住宅用の太陽光発電システム導入に対して補助をしてまいります。

道路の整備については、計画的な交通ネットワークの確保とともに、一級町道8号線を初めとする幹線道路は、地方道路計画に基づき計画的に整備し、一般町道については適切な維持補修、排水整備に努めてまいります。

町内の橋梁については、橋梁長寿命化修繕化計画に基づき、平成28年度は「山川モデル橋」と「すのこ橋」の2カ所の補修を行い、橋梁の計画的な長寿命化を図ってまいります。

広域的なネットワークである国道125号のバイパス化、鬼怒川ふれあい道路の整備について、引き続き国・県等の関係機関に要請してまいります。

筑西幹線道路につきましては、国道125号以南の路線決定を含め、平成28年度も継続して事業に取り組んでまいります。

町民の生活に欠かせない水の安定供給については、計画的で効率のよい上水道事業の運営に努めてまいります。

また、町民の理解と協力のもと、引き続き鬼怒小貝流域下水道事業や公共下水道事業の整備促進、合併処理浄化槽の普及、農業集落排水事業に取り組むとともに、施設の適切な維持管理に努めてまいります。

主な施策の第3は、教育と文化の振興であります。

町や地域を学び、誇りと愛着を持って、まちづくりに意欲的に取り組む人々を育むまちを目指してまいります。

未来を担う八千代の人づくりについては、子どもたちが、地域に愛着を持ち、心身ともにたくましく育み、学ぶことができるよう、教育内容のさらなる充実を図ってまいります。

また、子どもたちが、健全に、安心して学ぶことができるよう学校と地域及び保護者が一丸となって取り組んでまいります。

平成28年度には、東中学校校舎の建設工事及び旧校舎解体工事、さらに安静小学校のグラウンド改修工事などを実施し、安心安全な教育環境の充実を図ってまいります。

生きがいのある文化的なまちづくりについては、町民誰もが、生涯を通じて学習のできる体制の整備充実を図るとともに、社会教育活動の充実により、生きがいのあるまち

づくりを推進してまいります。

公民館や図書館が社会教育、地域づくりの拠点としての中心的な役割を果たし、文化の薫りが高く、明るく住みよい、誇れる個性のある地域づくりに貢献できるよう、利用しやすい施設づくりや事業内容の充実を図ってまいります。

さらに、文化協会とともに、町民が芸術・文化に触れる機会をより一層拡充し、郷土に根差した芸術・文化の継承と振興に努めてまいります。また、先人の築いた歴史・文化を後世に伝えるため、長期的展望に立った文化財の保護・保存・活用を図ってまいります。

健やかでたくましい人づくりについては、地域や家庭が連携し教育力を高め、青少年が心身ともに健康で人間性豊かに成長できるよう、町・地域ぐるみで健全育成の環境・体制づくりを推進してまいります。

町民が生涯にわたり、スポーツ・レクリエーション活動に気軽に参加でき、一人一人に合った健康づくりや体力向上に取り組むことができますよう、関係機関との連携のもと、施設の整備・充実や組織・指導体制の充実を図ってまいります。

主な施策の第4は、産業の振興であります。

基幹産業である農業を軸に、工業や商業、観光などさまざまな分野の交流や連携を促し、にぎわいと活力のあるまちを目指してまいります。

活力と将来性に満ちた農業の振興につきましても、環境に配慮した持続的な農業経営の確立による安全で新鮮な農作物の供給のため、生産者と行政の連携を高め、生産・流通体制の充実を図るとともに、地場農産物・加工特産品のブランド化やPRを推進してまいります。引き続き、八千代町イメージキャラクター「八菜丸（はなまる）」を中心に、「キムチ鍋」・「白菜メンチカツ」などのブランド化を目指し、継続してPRすることで町の活性化を図ってまいります。

担い手や農業法人等の経営を支援するとともに、就農希望者に対する受け入れ体制の強化などにより、後継者の育成に努めてまいります。

営農体系の確立と経営の近代化を促進するため、耕地の集団化、大型機械化、作業体系化による営農の省力化、農地や用排水路等、農業生産基盤の整備を総合的に推進するとともに、湛水被害を未然に防ぎ、農地の保全や活用を推進してまいります。

農業基盤の整備は、農業用水の安定的な供給体制の確立を図り、ハウス等の施設農業を充実させ、安定した農業経営の実現に努めてまいります。



創造性あふれる商工業の振興につきましても、商業では、個性的な店づくりや経営の高度化・近代化により、人々が集い、にぎわいのある商店街の形成を促進していくとともに、工業では、既存企業の技術力向上や事業拡張、事業高度化への支援に努めてまいります。

工場等の立地や町内の雇用、定住の促進を図るため、「固定資産税の課税免除制度」や「保留地住宅支援助成金制度」を引き続き推進するとともに、「新規学卒者雇用促進奨励金交付事業」や「社宅・社員寮整備支援事業」、転入者への支援、空き家の利活用の推進などを新たに取り組んでまいります。

地域資源を生かした観光の振興については、新たな地域資源の発掘とともに、自然環境に恵まれた八千代グリーンビレッジを中心とする憩遊館や滞在型市民農園「クラインガルテン八千代」等の既存資源の現状把握、さらには観光マーケットニーズの把握をし、観光課題の整理分析をすることで、地域間交流、近隣市町との連携により、広域観光など交流の拡大による町のイメージアップと観光の振興を図ってまいります。

安心できる消費生活の実現については、町民の健全な消費生活の定着と安定に向けて、「消費生活センター」による相談指導体制の充実を図るとともに、学習機会の拡充や啓発活動を通じ被害の防止に努めてまいります。

主な施策の第5は、協働のまちづくりです。

本町の特色ある地域コミュニティや組織を生かし、発展させ、新たな自治をみんなで築いていく協働のまちを目指してまいります。

みんなで進める協働のまちづくりについては、町民の自立と連携に支えられた活力あるまちづくりを進めるため、コミュニティ推進協議会活動を中心に、地域の連帯感を醸成し、主体性や創造性に富んだ地域活動を促進する環境づくりに努めてまいります。

町民総参加による自主的かつ個性的な地域協働社会の実現のため、若者のバイタリティーや女性の豊かな発想、高齢者の豊富な知識と経験を十分に活用しながら、まちづくり活動への支援や協働のまちづくりを推進してまいります。

交流と思いやりのあるまちづくりについては、町民・職員とも人権問題に関する理解と認識を深め、一人一人が尊重され、心豊かにともに生きる平等で明るい社会の実現を目指し、学習・啓発活動を推進してまいります。

地域間交流や都市と農村の交流、国際交流など、多様な交流が活発に行われることにより、町民や訪れる人がいきいきとふれあい、暮らすことができるまちの実現を目指し

てまいります。

情報化社会に対応したまちづくりについては、まちづくり情報等の共有化を通じ、町政への町民参加等を促進していくため、個人情報保護のもと、情報公開制度の適切な運用を図るとともに、広報・広聴活動のさらなる充実を図ってまいります。

高度情報化に対応した情報通信基盤の整備を促進するとともに、各種業務システムの利活用を図りながら電子自治体の構築を推進し、行政サービスの向上に努めてまいります。さらに、町内全域に整備された光ファイバー通信網や町公式ホームページを活用し、さらなる高度情報化を進めてまいります。

また、平成28年1月より始まったマイナンバー制度については、今後の適切な運用に対応するため、システムの改修やセキュリティ対策の強化を図ってまいります。

町民の視点に立った行財政運営の推進については、町民の多様なニーズに応え、適切かつ迅速な行政サービスを提供していくため、窓口サービスの向上や、行政体制・環境の改善など、町民の目線に立った、わかりやすく利用しやすい役場づくりを目指してまいります。

第3次行財政集中改革プランに基づき、計画的かつ効率的な行政運営と組織改革に努めるとともに、人材育成基本方針に基づき、職員の意欲と能力を最大限に引き出す取り組みを図り、優秀な人材の育成と定員の適正化を図ってまいります。

社会経済の変化と増大する行政需要に柔軟に対応できる安定的で持続可能な行財政運営を行うため、適切な財源の確保を図りながら、効率的かつ健全な財政運営に努めてまいります。

また、国や県、近隣市町との連携強化を図り、多様化する行政ニーズや地方分権に対応した効率的な行政運営を進めてまいります。

以上、町政運営に当たっての所信の一端を申し述べましたが、誰もが安心して暮らせるまちを目指して、諸施策を推進してまいり所存であり、議員並びに町民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

続きまして、平成28年度における各予算の概要を申し上げます。

これらの予算につきましては、町政運営の基本及び施策の基本方針に基づいて編成したものであります。

最初に、一般会計予算からご説明申し上げます。

平成28年度の一般会計予算総額は、79億9,300万円となり、前年度と比較して5億

4,900万円弱、7.4%の増となっております。

予算の特徴を申し上げますと、歳入では、市町村民税で農業所得の懸念や法人の税率改正により1.5%の減収を見込んでいるものの、固定資産税で工場や家屋の新設のほか、償却資産の増加で4.3%の増収を見込み、町税全体では対前年当初比1.7%増で計上したこと。また、地方交付税につきましては、国において0.3%の減額とされる中、過去の地方財政計画と町の実績を比較検討及び特別交付税の減額を考慮し、対前年当初比2.7%減で計上したこと。さらに、財源不足及び総合戦略、ふるさと納税分の対応として、義務教育施設整備基金と財政調整基金から繰入金4億9,100万円を計上したことが挙げられます。

次に、歳出につきまして申し上げますと、共済組合負担金及び退職手当負担金等の減により、人件費では1.7%減。維持補修費では、町道舗装補修工事及び橋梁補修工事等により188.2%の大幅増。扶助費では、臨時福祉給付金及び障害者自立支援給付費等により5.7%増。補助費につきましては、下妻地方広域事務組合負担金及び茨城西南医療センター病院運営費負担金が減額になった一方、介護施設等整備補助金や総合戦略に位置づけられました諸事業に係る助成金等による増額になったため、横ばい。

普通建設事業費の59.3%増の要因は、2年目に入ります東中学校校舎改築工事及び同校への太陽光発電設備工事、そして旧校舎の解体工事、さらに安静小学校グラウンド改修工事、一級町道8号線道路詳細設計業務委託等によるものであります。

また、繰出金では、国民健康保険、後期高齢者医療、農業集落排水事業、下水道事業特別会計等への繰り出しにより、全体で2.8%減となっております。

今回の予算は、厳しい財政環境の中、町行政改革大綱及び行財政集中改革プランの趣旨に沿い、前年度に引き続き全庁総力を挙げて事務事業等の見直しを図るとともに、限られた財源の重点的かつ効果的な配分を基本として編成したものであります。

以上が、一般会計の概要であります。

次に、国民健康保険特別会計予算についてご説明申し上げます。

国民健康保険は、国民皆保険制度の成立とともに、長年、地域住民の医療の確保と健康増進に寄与してまいりました。しかし、近年、急速な少子高齢化の進行や医療技術の高度化等により医療費は年々増加傾向にあり、また就業構造の変化、経済の減速など大きな環境の変化に直面していることから、国保財政は以前にも増して大変厳しい状況にあります。

こうした中、国においては、「社会保障と税の一体改革」の中で、国保保険者への広域化につきましては、平成30年度から都道府県が保険財政の運営主体となるということが決まりましたが、詳細につきましては、いまだ協議されている状況です。今後も、国及び県の動向を注視し、適切に対応する必要があります。

以上のような状況を踏まえ、編成いたしました当初予算の内容について申し上げます。平成28年度歳入歳出予算の総額は33億539万円で、対前年度比8.5%、金額で3億517万8,000円の減となっております。減額の主な理由は、国庫支出金、保険給付費にかかわるものとなっております。

歳入につきましては、平成27年度と比較して、国民健康保険税、国庫支出金、療養給付費等交付金、共同事業交付金、繰入金、繰越金が減少し、それ以外の前期高齢者交付金、県支出金、諸収入では増加しております。

歳出につきましては、保険給付費48.7%、後期高齢者支援金等13.8%、介護納付金6.1%、共同事業拠出金29.3%と、以上4項目で歳出全体の97.9%を占めております。

予算減額の主な要因といたしまして、保険給付費、後期高齢者支援金、介護納付金の減少によるものです。

以上が、国民健康保険特別会計予算の概要であります。なお、この予算につきましては、平成28年2月25日に八千代町国民健康保険運営協議会に諮り、ご了承をいただいていることをご報告申し上げます。

次に、後期高齢者医療特別会計予算についてご説明申し上げます。

後期高齢者の医療制度につきましては、平成20年4月1日から運用が開始され、9年目になりますが、国においては、現行制度を基本としながら、必要な改善を実施する方向であります。今後も、保険料の改正など、県及び関係機関の動向を注視し、適切に対応する必要があります。

平成28年度の予算編成に当たりましては、歳入として、保険料収入、一般会計繰入金、保険事業委託金を計上いたしました。

次に、歳出につきましては、健診実施に伴う委託料、広域連合への保険料等の納付金を計上いたしました。

以上により編成いたしました予算総額は、1億6,305万4,000円で、対前年度比1.8%、金額で297万円の減となっております。

その主な内容でございますが、まず歳入から申し上げますと、平成27年度と比較し、

後期高齢者医療保険料で280万円、繰入金で17万円減少しております。

また、歳出につきましては、総務費で2万7,000円、後期高齢者広域連合への納付金で294万3,000円減少しております。

以上が、後期高齢者医療特別会計予算の概要であります。

次に、介護保険特別会計予算について説明申し上げます。

八千代町の高齢化率は27.18%、前年度と比較して約1%増加しております。団塊の世代が75歳を迎える平成37年に向けて、今後も高齢化が進み、それに伴い、介護認定者数の増加が予想されます。こうした状況を踏まえ、地域包括支援センターを中心に、さらなる介護予防事業に取り組んでいくことが重要となっております。

平成28年度は、第6期計画の2年目に当たり、計画に沿って予算を編成いたしました。給付費を中心とした保険事業勘定予算と地域包括支援センターの運営による介護サービス事業勘定予算の2本立てによる予算でございます。

まず、保険事業勘定予算について説明申し上げます。平成28年度の介護保険特別会計（保険事業勘定）予算は、16億8,704万5,000円となり、前年度と比較しまして3,656万4,000円、2.2%の増となっております。

予算の内容について申し上げます。歳入につきましては、介護保険料でございますが、前年度と比較して7.3%の増加を見込んでおります。国庫支出金、県支出金及び支払基金交付金につきましては、法定負担割合で計上しております。また、一般会計繰入金につきましては、前年度と比較しまして1.0%の増加を見込んでおります。

次に、歳出について申し上げますと、総務費につきましては、事業費の伸びを見込み、5.1%の増となっております。保険給付費につきましては、利用者の増加、利用率の伸び等を見込み、2.1%の増となっております。地域支援事業につきましては、介護予防支援業務に係る経費として1.4%の増となっております。

以上が、介護保険特別会計（保険事業勘定）の予算であります。

続きまして、介護サービス事業勘定予算についてご説明申し上げます。平成28年度の介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）予算は、818万9,000円で、前年度と比較して17万9,000円、2.2%の増であります。

予算の内容について申し上げますと、歳入につきましては、要介護度が要支援1と2の方に対する介護予防サービス計画収入であります。

歳出につきましては、介護予防サービス計画策定を介護予防支援事務所に委託してお

ります委託料であります。歳入歳出とも、昨年度の実績を踏まえ増額しております。

以上が、介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）予算の概要であります。

次に、八千代中央土地区画整理事業特別会計予算についてご説明申し上げます。

八千代中央土地区画整理事業は、まちの中心となる市街地の計画的な整備や都市計画道路の整備を図るため、平成元年11月20日に県知事の事業認可を受け、平成3年度から本格的に事業に着手し、その後、平成11年には施工区域を拡大して事業を進めているところであります。この間、地権者のご理解とご協力を得ながら、家屋物件移転補償、都市計画道路や区画道路及び幹線排水路の築造工事、宅地の造成工事等を進めてまいりました。

前年度は、都市計画道路築造工事、盛り土整地工事、家屋物件移転補償等を実施いたしました。なお、平成27年度最終予算の事業費ベースによる進捗率は、地域全体で82.9%となっております。

本年度は、前年度に引き続き、保留地の販売を積極的に進めていくとともに、都市計画道路・区画道路築造工事、盛り土整地工事及び家屋物件移転補償等を実施してまいります。これにより編成いたしました予算総額は、1億7,308万円で、前年度と比較し1,017万5,000円、5.6%の減となっております。

以上が、八千代中央土地区画整理事業特別会計予算の概要であります。

次に、農業集落排水事業特別会計予算についてご説明申し上げます。

農業集落排水事業につきましては、関係各位のご尽力を賜り、順調に進捗しております。現在までに12カ所の処理施設が供用開始しております。

農業集落排水処理施設の維持管理につきましては、現在町が直接行っております。これからも受益者の生活に支障がないよう処理施設の維持管理に努めてまいります。

また、平成24年度から補助事業の採択を受けている中結城東部地区については、平成28年度は引き続き管路施設工事を実施してまいります。

これらにより編成しました予算総額は、5億4,391万5,000円で、前年度と比較し5億6,232万9,000円、50.8%の減となっております。

その内容を歳入から申し上げますと、分担金及び負担金160万3,000円、使用料及び手数料6,568万3,000円、国庫支出金1億500万円、県支出金2,448万5,000円、財産収入2,000円、繰入金1億6,323万1,000円、繰越金200万円、諸収入521万1,000円、町債1億7,670万円となります。

次に、歳出について申し上げますと、農業集落排水事業費 3 億9,043万5,000円、公債費 1 億5,148万円、予備費200万円となっております。

以上が、農業集落排水事業特別会計予算の概要であります。

次に、下水道事業特別会計予算についてご説明申し上げます。

下水道は、私たちが安全で快適な生活をしていく上で必要不可欠な施設であります。公共用水域の水質汚染防止と生活環境の改善を進めていくため、八千代町第5次総合計画の中で、「緑豊かで、安全・快適な生活環境のまちづくり」を推進するため、町の重要課題の一つとして位置づけ、整備を進めているところであります。

下水道が整備されたところにつきましては、順次供用を開始しており、平成27年度までのその面積は、仁江戸地区、東原地区、若地区、落田地区及び東落田地区のほぼ全域と八千代中央地区の一部を合わせた約157.47ヘクタールとなっております。本年度におきましても、八千代中央地区及び伊勢山地区の一部で約1.2ヘクタールの供用開始を予定しております。

本年度の下水道事業であります。前年度に引き続き、伊勢山地区及び八千代中央地区の污水管布設工事等を行い、供用開始区域の拡大に努めてまいります。

以上により編成しました予算総額は 4 億5,013万9,000円で、前年度と比較し3,061万8,000円、7.3%の増となっております。

その内容を歳入から申し上げますと、分担金及び負担金514万3,000円、使用料及び手数料2,208万1,000円、国庫支出金6,500万円、財産収入1,000円、繰入金 2 億1,461万3,000円、繰越金100万円、諸収入1,000円、町債 1 億4,230万円となります。

次に、歳出について申し上げますと、下水道総務費4,335万2,000円、下水道管理費 5,501万3,000円、公共下水道事業費 1 億7,233万4,000円、流域下水道事業費530万円、基金費1,000円、公債費 1 億7,313万9,000円、予備費100万円となっております。

以上が、下水道事業特別会計予算の概要であります。

次に、水道事業会計予算についてご説明申し上げます。

水道事業につきましては、安心して利用できる生活水の確保と清浄な飲料水の安定供給を目指し、町民の皆様により健康で快適な日常生活を送っていただくため、事業を推進しております。

昭和60年に一部給水を開始して以来、既に30年余りの年月が経過し、施設及び機器の老朽化が年々進んでおりますので、定期的な保守点検、計画的な修繕や更新工事を行い、

水道水の安定供給に努めてまいります。

平成28年度は、水道事業としての経営の安定化を図るため、町水道への加入促進及び自家用井戸からの切りかえ等を推進して、収益の拡大に努めてまいります。

平成28年度の予算編成に当たっては、国・県の動向を基調に、町の予算編成方針を踏まえ、収益の拡大と経費の節減、抑制を図ることを目的に編成したものであります。

初めに、営業業務の概要を申し上げますと、給水戸数5,875戸、年間総給水量154万9,608立方メートル、1日平均給水量4,246立方メートルであります。

続きまして、予算の内容について申し上げます。

まず、3条予算の収益的収入及び支出であります。収入総額を4億6,781万8,000円、支出総額を3億8,821万2,000円とします。

収入の内訳は、営業収益4億2,710万5,000円、営業外収益4,071万1,000円、特別利益2,000円。支出の内訳は、営業費用3億5,942万3,000円、営業外費用1,878万8,000円、特別損失1,000円、予備費1,000万円であります。

主な事業を申し上げますと、急速ろ過器ろ材交換・修繕工事、配水ポンプ分解整備工事等であります。

次に、4条予算の資本的支出であります。支出総額が7,545万7,000円、資本的収入が資本的支出に対して不足する額7,545万7,000円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、当年度分損益勘定留保資金より補填いたします。

支出の内訳は、建設改良費2,407万7,000円、企業債償還金5,138万円であります。

主な事業を申し上げますと、配水管布設工事、配水ポンプ盤内機器更新事業等であります。

今後も引き続き、加入者の理解と協力を得て収益の拡大に努めながら、独立採算に沿うよう効率的な経営を推進してまいります。

以上、一括上程されました各会計の予算につきまして提案理由を申し上げましたが、詳細につきましては、各担当課長に説明させますので、慎重にご審議の上、原案にご賛同くださいますようお願い申し上げます、説明といたします。

議長（大久保 武君） 暫時休憩します。

（午前10時12分）

---

議長（大久保 武君） 休憩前に戻り、会議を再開いたします。



議長（大久保 武君） これより予算概要について関係課長からの説明を求めます。

初めに、議案第18号の予算概要について、企画財政課長の説明を求めます。

青木企画財政課長。

(企画財政課長 青木良夫君登壇)

企画財政課長（青木良夫君） それでは、私のほうから議案第18号 平成28年度一般会計予算の概要をご説明申し上げます。

平成28年度一般会計予算総額は、79億9,300万円といたしました。前年度と比較しますと7.4%、5億4,900万円の増となっております。

本年度の予算の主な特徴につきましては、先ほど町長の提案理由の中で説明がありましたので、私からはその詳細についてご説明申し上げます。

それでは、一般会計予算書の8ページ、9ページをお開きください。歳入歳出予算事項別明細書となっております。対前年度の比較がございますので、このページで歳入全体についての概要をご説明申し上げます。

まず、町税におきましては、本年度予算額24億3,302万3,000円で、前年度より3,973万9,000円、1.7%の増となっております。個人町民税を0.5%減、法人町民税につきましては税率改正によりまして8.9%の減、固定資産税につきましては家屋及び償却資産によりまして4.3%増、軽自動車税を7.8%増、たばこ税を1.2%減、入湯税につきましては5.9%増を見込んでございます。

次に、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金におきましては、27年度決算見込み額及び地方財政計画を勘案の上、計上してございます。

続いて、地方交付税におきましては、地方財政計画で27年度当初より0.3%の減となっておりますけれども、過去の地方財政計画と町の実績の比較検討及び特別交付税の減額を見込みまして、全体で16億7,319万3,000円、対前年度比で2.7%、4,614万9,000円減で計上してございます。なお、基準財政需要額からの振替措置といたしまして、臨時財政対策債を3億301万8,000円計上してございます。

次に、交通安全対策特別交付金におきましては、214万3,000円で、対前年度比4.1%、8万5,000円増で計上してございます。

次に、分担金及び負担金におきましては、主に保育料の徴収金等でございますが、園児の減少及び利用者負担の減によりまして、対前年度比10.0%、798万9,000円の減の7,176万9,000円で計上してございます。

次に、使用料及び手数料におきましては、保健衛生使用料及び総務手数料等で3,100万7,000円を計上してございます。前年度とほぼ同額となっております。

次に、国庫支出金におきましては、本年度予算額9億829万4,000円でございますが、これにつきましては、国庫負担金で教育・保育施設型給付費負担金及び障害者自立支援給付費負担金、国庫補助金で臨時福祉給付金給付事業費補助金、学校施設環境改善交付金、防災安全交付金等によりまして、対前年度比11.7%、1億352万7,000円の増となっております。

続きまして、県支出金におきましては、本年度予算額6億6,271万円となり、昨年度より12.9%、7,571万6,000円の増となっております。これにつきましては、現在新井地内に建設が進められております介護老人保健施設「葵の園」への地域医療介護総合確保基金事業補助金、子ども・子育て支援交付金、参議院議員通常選挙委託金等の増によるものでございます。

次に、財産収入は、昨年度とほぼ同額の675万4,000円でございますが、2万3,000円の減につきましては、基金利子の減によるものでございます。

次に、繰入金につきましては、4億9,100万7,000円を計上してございます。財源不足の対応といたしまして、財政調整基金から1億7,300万円、東中学校校舎改築事業に充当するため、義務教育施設整備基金から3億1,800万円繰り入れいたします。なお、財政調整基金繰入金の中には、財源不足分のほか、総合戦略新規事業の財源4,740万円が含まれ、さらにその一部には27年度ふるさと納税分900万円を充当してございます。

続きまして、繰越金は、昨年度と同額の1億5,300万円を計上しております。

次に、諸収入は、農地中間管理事業委託金等の増によりまして、昨年度より0.5%、84万5,000円増の1億6,129万7,000円となっております。収入の主なものといたしましては、学校給食費個人負担金、派遣職員負担金等となっております。

続いて、町債におきましては、8億7,841万8,000円で、昨年度より51.1%、2億9,690万円の大幅増となっております。これにつきましては、消防債、あるいは道路整備事業債、農業債が減額になる一方、東中学校校舎改築事業に伴います中学校債の倍増によるためでございます。

以上が、歳入の概要でございます。

また、戻りまして、予算書の6ページをお開きください。「第2表地方債」として、起債事業一覧表となっておりますので、ご覧おきいただければと思います。

続きまして、歳出の主なものにつきましてご説明申し上げます。恐れ入りますが、別添資料のナンバー1、一般会計予算関係資料、こちらをご覧いただければと思います。予算書と別の資料のつづりになっております。資料ナンバー1の平成28年度予算関係資料、一般会計という資料でございます。

それでは、この資料の5ページをお開きください。歳出の性質別内訳によりご説明申し上げます。まず、義務的経費の一つであります人件費につきましては、合計で12億8,785万7,000円となります。昨年度より1.7%、2,258万8,000円の減となっております。これにつきましては、共済組合負担金及び退職手当負担金の減によるものでございます。

次に、中段以降にございます義務的経費の扶助費についてご説明申し上げます。扶助費の合計は10億513万2,000円で、対前年度比5.7%、5,382万2,000円の増となっております。これにつきましては、臨時福祉給付金及び障害者自立給付費等の増によるものでございます。

次に、下のほうになります。やはり義務的経費の公債費、いわゆる借入金の返済でございますが、今年度の当初予算額は5億5,189万8,000円でございます。昨年度より4.1%、2,333万7,000円の減となっております。これにつきましては、臨時財政対策債、あるいは土木債等の元利償還金は増額となりましたけれども、総務費総務債、特に庁舎建設事業債が27年度で償還が完了になったため、それから、さらにまた地域再生事業債の減額によるものでございます。また、長期債利子につきましては、10%、847万9,000円の減となっております。

続きまして、投資的経費の普通建設事業費についてご説明申し上げます。公債費の上段になりますけれども、今年度予算額11億6,022万3,000円、対前年度比59.3%、4億3,194万円の大幅増となっております。平成28年度の事業につきましては、同じ資料の6ページ、7ページに主な事業の一覧表がございますので、お開きください。

最初に、プラスの要因といたしまして、総務関係で総合戦略に位置づけております防犯カメラ設置事業で300万円、土木関係で一級町道8号線の道路詳細設計業務委託で1,400万円、同じく一級町道14号線の道路詳細設計業務委託で500万円の増となっております。7ページに移りまして、教育関係ですが、小学校保健室シャワー設備設置工事

で300万円、安静小学校グラウンド改修工事で1,300万円、東中学校校舎改築事業で6億2,512万8,000円の増等が挙げられます。

他方、マイナス要因といたしまして、農林業関係で霞ヶ浦用水事業負担金685万1,000円の減、土木関係で二級町道3号線道路改良工事で1,674万円、町道1522号線で2,005万9,000円、町道3814号線道路整備事業で2,808万6,000円の減となっております。また、教育関係で、下結城小学校ベランダ手すり改修事業で975万3,000円の減、八千代第一中学校校舎改築事業で1億4,000万円の減等が挙げられます。

ただいま主な増減の要因についてご説明申し上げましたが、その結果、総額で対前年度比59.3%、4億3,194万円の大幅増となっております。

再度、5ページをお開きください。続いて、人件費の次の物件費でございますけれども、予算総額11億239万5,000円で、昨年度より7.9%、8,099万1,000円の増となっております。主な要因を申し上げますと、備品購入費、東中学校用机と椅子、八千代診療所の放射線機器、交通指導車や近年多発しております災害等に万全を期すため、道路パトロール車の購入を予定しております。また、委託料におきましては、橋梁点検、都市計画基礎調査委託料等で616万8,000円の増額となっております。さらに、そのほかで、OA化整備費で、コンピューターの賃借料及びソフトウェア使用料、ふるさと納税謝礼等によりまして、2,300万2,000円の増となっております。

次に、下へまいりまして、維持補修費につきましては、予算総額9,605万4,000円で、昨年度より188.2%、6,272万7,000円の大幅増となっております。これにつきましては、橋梁補修工事、町道舗装補修工事、広域農道補修工事の増によるものでございます。

次に、中段から下になりますが、補助費です。補助費についてでございますが、15億4,133万8,000円、これにつきましては、昨年度より27万円の増となっております。これにつきましては、下妻地方広域事務組合、西南医療センター病院運営費、県防災情報ネットワークシステム更新時の負担金及び子育て世帯臨時特例給付金等が減額になりましたけれども、他方、介護施設等整備補助金、これにつきましては、先ほど県補助金のところでご説明申し上げましたが、「葵の園」への補助金になりますが、このほか教育・保育施設型給付費負担金、総合戦略に位置づけいたしました諸事業に係る助成金等により増額になり、総額では横ばいということになってございます。

続きまして、下から2段目の繰出金について申し上げます。各特別会計への繰出金となっておりますが、本年度予算額12億2,068万8,000円、昨年度より2.8%、3,462万

5,000円の減となっております。介護保険特別会計と中央土地区画整理事業特別会計で増額になりましたけれども、そのほかの特別会計におきましては減額となっております。なお、詳細につきましては、資料の8ページに各特別会計への平成22年度から28年度当初予算におきます繰出金及び一部事務組合等負担金の推移を記載してございますので、後ほどご覧おきいただければと思います。

次に、9ページをお開きください。基金残高の推移となっております。財政調整基金及び特定目的基金、定額運用基金の27年度末におきます最終見込み額は、下の合計欄にありますけれども、27億1,411万6,000円でございます。また、28年度当初予算に財政調整基金及び義務教育施設整備基金から、合わせまして4億9,100万円の取り崩しを計上してございます。

続きまして、10ページ以降につきましては、一般会計の起債残高の内訳となっております。12ページの一番最後の欄に合計が記載してございますが、27年度の借り入れ見込み額を含めました残高は、69億1,346万5,000円となっております。また、八千代町全体におきましては、平成27年度末見込みで一般会計、特別会計を合わせました起債残高は、125億2,151万2,000円となっております。

最後に、参考までに申し上げます。八千代町予算書の表紙の次のページをお開きください。一般会計予算は、79億9,300万円、対前年度比5億4,900万円、7.4%増となっておりますが、特別会計の合計が、下の小計欄でございますけれども、68億7,408万7,000円、対前年度比8億4,325万6,000円、10.9%の減となっております。

また、一般会計、特別会計を合わせました八千代町全体の予算総額につきましては、一番下の合計欄にありますけれども、148億6,708万7,000円、対前年度比2億9,425万6,000円、1.9%減となっております。

以上、一般会計予算の概要についてご説明申し上げましたが、ご審議のほどよろしくお願ひ申し上げます。

議長（大久保 武君） 次に、議案第19号、議案第20号の予算概要について、町民課長の説明を求めます。

塚原町民課長。

（町民課長 塚原勝美君登壇）

町民課長（塚原勝美君） それでは、議案第19号 平成28年度八千代町国民健康保険特別会計予算及び議案第20号 平成28年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算について

ご説明いたします。

初めに、国民健康保険特別会計予算の概要についてご説明いたします。内容に入る前に、国保制度の動向について報告させていただきます。

現在、国においては、持続可能な医療保障制度の構築のための国民健康保険法の一部を改正する法律が平成27年5月に制定され、都道府県と市町村はともに保険者となり、共同で国保の運営に当たることになりました。平成30年度から県が財政運営の主体となり、安定的な財政運営を図り、市町村は保険料の賦課、徴収、資格管理、保険給付の決定、保険事業等地域におけるきめ細やかな事業を行うということから、県と市町村に特別会計を設け、国保運営協議会もそれぞれに設けるとしまして、任期は3年となるなどの概要が決定しました。医療費の支払いは、県が国保給付費等交付金として市町村に交付し、県は毎年国保事業費納付金を市町村から徴収いたします。保険料については、県が標準的な保険料率を示しつつ、市町村ごとに設定することを基本とするということでありまして、県の標準保険料の公表は平成29年7月ごろの予定とのことでございます。事務内容につきましては、現在、協議している状況でございます。

平成28年度の国保税の改正点でございますが、国保税の課税限度額は、基礎課税額が54万円、後期高齢者支援金等賦課金が19万円となり、現行の「85万円」が「89万円」に引き上げられることとなります。

一方、軽減措置につきましては、5割軽減及び2割軽減の対象となる世帯の所得判定基準が引き下げられることになっております。しかし、現在、課税限度額の引き上げ、軽減措置の引き下げにつきましては、国会で審議中でございます。

それでは、資料ナンバー2によりましてご説明させていただきます。先ほど一般会計の資料ナンバー1の後に、国保の資料ナンバー2、それから後期高齢の資料ナンバー3がありますので、ご覧いただきたいと思っております。

1ページをお開きください。本年度予算額と比較増減の欄をご覧ください。まず、予算総額でございますが、歳入歳出それぞれ33億539万円とするもので、前年度と比較いたしますと、3億517万8,000円、8.5%の減となっております。

歳入からご説明申し上げます。款1国民健康保険税につきましては、7億5,151万2,000円で、前年度より4,705万円、5.9%の減となっております。これは、世帯数、被保険者数の減少によるものでございます。

款4国庫支出金については、7億8,000万円で、前年度と比べて1億1,185万9,000円、

12.5%の減となります。これは、療養給付費等負担金及び財政調整交付金が減額となったことによるものでございます。

款5療養給付費等交付金につきましては、5,002万1,000円で、前年度より8,497万9,000円、62.9%の減でございます。退職被保険者数の減少により減額したものでございます。

款6前期高齢者交付金につきましては、3億1,407万7,000円で、前年度より407万6,000円、1.3%の増でございます。前期高齢者の被保険者数の偏在による保険者間の医療費及び後期高齢者支援金等の負担の不均衡を調整するための制度で、国の関係機関である社会保険診療報酬支払基金の推計資料に基づき、計上してございます。

款7県支出金につきましては、3億円で、前年度より8,996万2,000円、42.8%の増でございます。これは、過去の実績に基づくものでございます。

款8共同事業交付金につきましては、高額医療にかかわるもので、8億5,000万円、前年度より1億892万6,000円、11.4%の減でございます。茨城県国保連合会からの推計資料に基づき、計上しております。

款10繰入金につきましては、一般会計などからの繰り入れで、2億4,039万2,000円となり、前年度より2,688万7,000円、10.1%の減でございます。

款11繰越金につきましては、1,000万円で、前年度より2,000万円の減でございます。これは、前年度繰越金でございます。

款12諸収入につきましては、938万4,000円で、前年度より48万5,000円の増でございます。

続きまして、歳出について申し上げます。款1総務費につきましては、3,465万3,000円で、前年度より122万9,000円、3.4%の減でございます。主に、職員の異動に伴う人件費の減額によるものでございます。

款2保険給付費につきましては、16億940万1,000円で、前年度より2億3,011万3,000円、12.5%の減でございます。被保険者数の減少及び薬価基準の見直しによるものでございます。

款3後期高齢者支援金等につきましては、4億5,554万9,000円で、前年度より5,458万7,000円、10.7%の減でございます。

款4前期高齢者納付金につきましては、22万8,000円で、前年度より47万2,000円の減でございます。

款6介護納付金につきましては、2億円で、前年度より2,000万円、9.1%の減でございます。

なお、款3から款6につきましては、社会保険診療報酬支払基金の推計資料に基づき計上しております。

款7共同事業拠出金につきましては、9億6,851万9,000円で、前年度と同額を計上しております。

款8保険事業費につきましては、2,196万4,000円で、前年度より42万3,000円、2.0%の増でございます。主に、特定健診事業及び人間ドック検診料助成事業費でございます。

款10諸支出金につきましては、505万5,000円で、前年度より80万円、10.8%の増でございます。主に、保険税の還付金や国庫補助金返還金などがございます。

款11予備費につきましては、前年度と同額の1,000万円を計上しております。

以上が、歳入歳出予算の概要でございます。なお、下の円グラフは、歳入歳出予算額の構成比率を示したものでございます。

次に、2ページをご覧ください。左側の表2から表4は、平成18年度から平成28年度までの一般被保険者と退職被保険者及びその合計額の1世帯当たりと1人当たりの医療費の推移をあらわしております。右側の表5から表7は、平成18年度から平成28年度までの国保税の現年度調定額の推移をあらわしたものでございます。

3ページをお開きください。表8は、平成22年度から28年度までの一般分の保険税と賦課割合の状況でございます。下の表は、平成23年度から28年度までの被保険者数及び世帯数の推移をあらわしております。後ほどご覧いただきたいと思っております。

続きまして、平成28年度八千代町後期高齢者医療特別会計の概要について、資料ナンバー3によりご説明いたします。

後期高齢者医療制度につきましては、県と市町村の派遣職員が事務局であります茨城県後期高齢者医療広域連合が主体となりまして運営しております。平成27年度から八千代町職員1名を派遣しております。

それでは、平成28年度の予算概要について申し上げます。

1ページをご覧ください。本年度の予算総額につきましては、歳入歳出それぞれ1億6,305万4,000円とするもので、前年度より297万円、1.8%の減でございます。

まず、歳入から申し上げます。款1後期高齢者医療保険料につきましては、9,670万1,000円で、前年度より280万円、2.8%の減でございます。被保険者の所得減少などによ



るものでございます。

款3繰入金につきましては、6,093万2,000円で、前年度より17万円、0.3%の減でございます。

款4繰越金につきましては、前年度と同額の100万円を計上しております。これは、前年度繰越金でございます。

款5諸収入につきましては、前年度と同額の442万円を計上しております。

続きまして、歳出について申し上げます。款1総務費につきましては、1,279万7,000円で、前年度より2万7,000円の減でございます。

款2後期高齢者医療広域連合納付金につきましては、1億4,820万7,000円で、前年度より294万3,000円、1.9%の減でございます。後期高齢者医療広域連合会からの推計資料により、計上しております。

款3諸支出金につきましては、前年度と同額の105万円を計上しております。

款4予備費につきましても、前年度と同額の100万円を計上しております。

なお、下の円グラフは、歳入歳出予算額の構成比率を示したものでございます。

2ページには、前年度被保険者数と年間医療費額などを表とグラフにより表示してございます。後ほどご覧おきいただきたいと思います。

以上、平成28年度八千代町国民健康保険特別会計予算及び八千代町後期高齢者医療特別会計予算の概要を申し上げましたが、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

議長（大久保 武君） 次に、議案第21号の予算概要について、福祉保健課長の説明を求めます。

相田福祉保健課長。

（福祉保健課長 相田敏美君登壇）

福祉保健課長（相田敏美君） それでは、議案第21号 平成28年度八千代町介護保険特別会計予算の概要についてご説明申し上げます。

お手元に配付させていただいております資料ナンバー4、平成28年度八千代町介護保険特別会計予算関係資料をご覧ください。保険給付費を中心とした保険事業勘定及び地域包括支援センターのサービス計画収入を主なものとする介護サービス事業勘定の予算でございます。

まず、保険事業勘定から主なものについてご説明申し上げます。1ページ、表1の総括表をご覧ください。歳入歳出予算総額は16億8,704万5,000円となります。前年度予算

と比較しますと3,656万4,000円の増額、率では2.2%の増となります。

歳入でございますが、款1の保険料は3億2,378万3,000円で、前年度比7.3%の増となります。これは、第6期介護保険事業計画により見込んだものです。

款3の国庫支出金は3億8,977万7,000円で、前年度比3.0%の増となります。

款4の支払基金交付金は4億7,593万1,000円で、前年度とほぼ同額となります。

款5の県支出金は2億3,827万9,000円で、前年度比0.2%の増となります。

款7の繰入金は2億5,454万9,000円で、前年度比1.0%の増となります。

款8の繰越金は、前年度からの繰り越し見込み額468万3,000円で、前年度比11.9%の増となります。

次に、歳出でございますが、款1の総務費は5,947万3,000円で、前年度比5.1%の増となります。これは、事務費の増加に伴うものであります。

款2の保険給付費は15億8,137万5,000円で、前年度比2.1%の増となります。これは主にサービス利用の増加を見込んでいます。

款4の地域支援事業費は3,594万円で、前年度比1.4%の増となります。

款7の諸支出金は25万4,000円で、主に保険料の過誤納還付金で、前年度比361.8%の増となります。

款8の予備費については1,000万円で、前年度と同額となっております。

下の円グラフをご覧ください。この円グラフは、歳入歳出の構成比についてあらわしたものです。まず、歳入の一番大きいものは支払基金交付金でありまして、全体の28.9%を占めています。次に大きいのは国庫支出金23.0%、以下、保険料18.1%、繰入金15.3%、県支出金14.5%、繰越金0.2%となっております。

歳出で一番大きいものは保険給付費で全体の93.8%、以下、地域支援事業費2.1%、総務費3.5%、予備費0.6%となっております。

次に、2ページをご覧ください。表の2は、保険給付費について平成24年度から26年度までの決算、27年度の見込み、28年度予算までの推移でございます。平成26年度決算から平成28年度予算を比較しますと、13.8%の増となっております。

表の3は、地域支援事業費の推移でございます。

次に、3ページをご覧ください。表4は、介護サービスの利用状況でございます。居宅サービスの利用者が伸び、施設サービスの利用者につきましては、200人前後で推移しています。

表の5は、第1号被保険者の保険料月額 of 段階別内訳です。第1期から第4期までは微増となっていました、第5期計画からの見直しで基準額が大幅な伸びとなっています。第6期計画からは、所得の段階区分は9段階に細分化されています。

次に、4ページをご覧ください。表6は、保険料収入の徴収区分別推移ですが、特別徴収が伸び、普通徴収は減となりますが、全体的にはほぼ同額となっています。

表の7は、平成28年度保険料収入を見込むに当たっての所得段階別内訳でございます。基準額となる第5段階は13.7%となっています。

表8は、介護給付費準備基金の積立金の推移でございます。

次に、5ページをご覧ください。表の9は、介護度別認定者の推移でございます。

表の10は、介護予防に係るサービス事業勘定に関する総括表でございます。

歳入歳出予算総額は818万9,000円となります。前年度予算と比較しますと17万9,000円の増額、率では2.2%の増となります。

歳入でございますが、款1のサービス収入は798万8,000円で、前年度比2.3%の増となっています。これは、介護予防支援サービス計画収入でございます。

款2の繰越金は、前年度同様20万円を計上しています。

歳出につきましては、款1の事業費は793万9,000円で、前年度比2.3%の増となっています。これは、介護予防サービス計画作成委託料の支出でございます。

款2の諸支出金は20万円で、保険事業勘定への繰出金でございます。

款3の予備費は5万円でございます。

以上が、平成28年度介護保険特別会計予算の概要でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

議長（大久保 武君） 次に、議案第22号の予算概要について、都市建設課長の説明を求めます。

生井都市建設課長。

（都市建設課長 生井俊一君登壇）

都市建設課長（生井俊一君） それでは、議案第22号 平成28年度八千代中央土地区画整理事業特別会計予算の概要につきましてご説明申し上げます。

お手元の別添予算関係資料であります資料ナンバー5をご覧くださいと思います。平成28年度の歳入歳出予算はそれぞれ1億7,308万円、前年度と比較しまして1,017万5,000円の減、対前年度比で94.0%でございます。

それでは、歳入の主なものにつきましてご説明申し上げます。項1 事業収入は、2,993万6,000円で、前年度と比較しまして568万7,000円の減、対前年度比で84.0%でございます。これは、保留地処分金でありまして、保留地3区画及び付保留地1区画の処分金、また分割納入としまして12区画分を見込んだものでございます。

項2 国庫支出金は2,365万円で、前年度と同額でございます。これは、第2工区が国庫補助の対象となっておりますので、その対象事業費の55%を計上したものでございます。

項3 繰入金1億9万2,000円で、前年度と比較しまして781万2,000円の増、対前年比で108.5%でございます。一般会計からの繰入金でございます。

項6 町債は1,740万円で、前年度と比較しまして1,230万円の減、対前年比で58.6%でございます。これは、区画整理事業債を借り入れるものでありまして、工事費、補償費等の国庫補助対象事業の45%の裏負担分であります90%を計上したものでございます。

以上が歳入の概要でございます。

次に、歳出の主なものについてご説明申し上げます。項1 総務費は1,396万7,000円で、前年度と比較しまして368万1,000円の減、対前年比で79.1%でございます。総務費につきましては、職員の人件費が主なものでございます。

項2 第1工区区画整理事業費6,641万円と項3 第2工区区画整理事業費4,724万7,000円は、前年度と比較しまして1,015万3,000円の減、対前年比91.8%でございます。本年度は、都市計画道路、区画道路の築造工事及び盛り土整地工事、家屋の移転補償費等を実施する予定でございます。詳しい事業概要につきましては裏面に記載してありますので、後でご覧おきのほどよろしく願いいたします。

項4 公債費は4,345万6,000円で、前年度と比較しまして365万9,000円の増、対前年比109.2%でございます。公債費は、借入れの長期債元金と利子の償還分でございます。

裏面に円グラフにて歳入歳出の構成比をあらわしてありますので、後でご覧おきのほどよろしく願いいたします。

以上が、平成28年度八千代中央土地区画整理事業特別会計予算の主な概要でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

議長（大久保 武君） 次に、議案第23号、議案第24号、議案第25号の予算概要について、上下水道課長の説明を求めます。

柴森上下水道課長。

（上下水道課長 柴森米光君登壇）

上下水道課長（柴森米光君） それでは、議案第23号 平成28年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算、議案第24号 平成28年度八千代町下水道事業特別会計予算、議案第25号 平成28年度八千代町水道事業会計予算の概要についてご説明いたします。

初めに、お手元に配付してあります資料ナンバー6をご覧くださいと思います。農業集落排水事業特別会計のほうなのですけれども、平成28年度の歳入歳出はともに5億4,391万5,000円で、前年に比較して5億6,232万9,000円の減、対前年比49.1%となります。

主な事業としましては、中結城東部地区の管路施設、工事延長が1,952メートルを整備する予定でございます。

それでは、歳入の主なものについてご説明いたします。科目の1、分担金及び負担金160万3,000円、1,571万9,000円の減、対前年比9.2%です。これは、中結城東部地区の分担金が既に納付され、供用開始しています地区の新規加入分の負担金となっております。

科目2、使用料及び手数料6,568万3,000円で、前年度と比較しまして46万1,000円の減、対前年比99.8%です。これは、現在供用開始しています12施設の使用料でございます。

科目3、国庫支出金1億500万円で、前年度と比較しまして2億4,500万円の減、対前年比30%。これについては、中結城東部地区の補助金であります。

科目4、県支出金2,448万5,000円で、前年度と比較して895万6,000円の増、対前年比157.6%。これについては、地方債の償還に要する財源として、年度ごとに国補助対象事業費の2%ずつ5年間交付される農業集落排水事業推進交付金として計上されているものでございます。

科目6、繰入金1億6,323万1,000円で、前年度と比較しまして30万5,000円の減、対前年比99.8%です。これは、一般会計からの1億4,723万1,000円、農業集落排水基金からの300万円、町債償還準備基金から1,300万円の繰入金であります。

科目7、繰越金200万円で、前年同様です。

科目8、諸収入521万1,000円で、前年度と比較しまして3,710万円の減額です。これは、消費税還付金500万円、福島原発事故の賠償金として21万円であります。

科目9、町債1億7,670万円で、前年度と比較しまして2億7,270万円の減、対前年比39.3%。中結城東部地区の通常債1億5,500万円、沼森地区の通常債370万円、資本費平準化債1,800万円であります。

以上が歳入の概要でございます。

次に、下の欄になりますけれども、歳出の説明をいたします。科目1、農業集落排水事業管理費1億1,096万2,000円で、前年度と比較しまして1,105万2,000円の増、対前年比111%で、主なものは、供用開始している12施設の維持管理費、光熱費、修繕料等でございます。あと、施設の管理委託料、町債償還準備基金の積み立て等でございます。

科目2、農業集落排水事業費2億7,947万3,000円で、前年度と比較しまして5億7,639万9,000円の減、対前年比32.6%で、主に職員の人件費、中結城地区の管路施設の工事請負費、補償費等でございます。

科目3、公債費1億5,148万円で、前年度と比較しまして301万8,000円の増、対前年比102%。これは、長期債の元金、利子でございます。

科目4、予備費については、前年同額の200万円を計上してございます。

裏面のほうに歳入歳出の構成比、先ほども申し上げましたが、中結城地区の事業の概要が載っておりますので、後でご覧おき願いたいと思います。

以上が、八千代町農業集落排水事業特別会計予算の概要でございます。

続きまして、次の資料になりますけれども、資料ナンバー7の下水道事業特別会計予算をご覧いただきたいと思います。

平成28年度の歳入歳出は、ともに4億5,013万9,000円で、前年に比較して3,061万8,000円の増、対前年比107.3%となります。主な事業としては、公共地区で污水管の布設工事、推進工事、開削工事あわせ1,400.9メートルを整備する予定でございます。

歳入の主なものでございますが、科目1、分担金及び負担金514万3,000円で、前年度と比較しまして128万円の減、対前年比80.1%です。これは、28年度に供用開始となります地区と分割納付による受益者負担金であります。

科目2、使用料及び手数料2,208万1,000円で、前年度と比較しまして116万4,000円の増、対前年比105.6%です。これは使用料でございます。

科目3、国庫支出金6,500万円で、前年度と比較しまして500万円の増、対前年比108.3%、社会資本整備総合交付金が国庫支出金の内容でございます。

科目6、繰入金2億1,461万3,000円で、前年度と比較しまして886万6,000円の減、対前年比96%です。これは、一般会計から2億869万2,000円、下水道事業基金から592万1,000円の繰入金であります。

科目7、繰越金100万円で、前年度と同額です。

科目9、町債1億4,230万円、前年度と比較しまして3,460万円の増、対前年比132.1%

です。これについては、公共下水道事業9,780万円、特定環境保全地区の公共事業で280万円、流域下水道事業480万円、資本費平準化債3,690万円であります。

次に、歳出の主なものをご説明いたします。下になります。科目1、下水道総務費4,335万2,000円で、前年度と比較しまして1,175万8,000円の減、対前年比78.7%です。主に職員の人件費、委託料、各種負担金であります。

科目2、下水道管理費5,501万3,000円で、前年度と比較しまして38万2,000円の減、対前年比99.3%です。主なものとしては、流量計とマンホールポンプの管理委託料、鬼怒小貝流域下水道の維持管理負担金等でございます。

科目3、公共下水道事業費1億7,233万4,000円で、前年度と比較しまして3,525万7,000円の増、対前年比125.7%です。主なものとしては、実施設計委託料、工事請負費、補償費等でございます。

科目4、流域下水道事業費530万円で、前年度と比較しまして217万5,000円の増、対前年比169.6%です。これは、鬼怒小貝流域下水道の建設負担金であります。

科目6、公債費1億7,313万9,000円、前年度と比較しまして532万6,000円の増、対前年比103.2%。これについては、長期債元利・利子の償還金であります。

科目7、予備費については、昨年と同額の100万円を計上しております。

裏面に歳入歳出の構成比、事業についてはその下に記載してございますので、後でご覧おきいただきたいと思っております。

以上が、下水道事業特別会計予算の主な概要でございます。

続きまして、資料ナンバー8になります。平成28年度水道事業会計予算をご覧いただきたいと思っております。

1ページをお開き願いたいと思っております。左側になりますけれども、1については水道事業の概況を記載してございますので、後でご覧いただきたいと思っております。右側、給水状況になりますけれども、平成28年1月31日現在の状況でございます。一番表の右が、合計としましては給水件数が5,817件、給水人口2万1,529人、給水率94%となっております。

続きまして、2ページをお開き願いたいと思っております。これについては、水道会計予算の推移状況を記載してございます。平成21年度から28年度における推移でございます。

続いて、その下の3ページ、4ページについては、水道事業の企業債明細書ですが、4ページの一番下の欄にございますけれども、発行総額が5億6,030万円に対し、

未償還高が1億8,343万6,239円であります。

続いて、5ページになりますけれども、水道事業会計予算の総括表をご覧いただきたいと思えます。左側、3条予算になります。収入については、1の営業収益、4億2,710万5,000円で、これについては水道料金、量水器の使用料、加入金等でございます。402万4,000円の増。

2番、営業外収益4,071万1,000円で、主に長期前受金戻し入れ等でございます。

雑収益は、昨年と比較しまして246万3,000円の減で、配水管布設工事補償金であります。

支出のほうになります。1番、営業費用が3億5,942万3,000円で、内訳といたしましては、(1)原水費8,811万円で、県のほうからの受水費、修繕費、動力費等でございます。

2番の浄水費、4,374万1,000円で、委託料、修繕費等でございます。

3番の配水費、3,856万5,000円で、主に委託料、修繕費、動力費です。

5番、総係費は6,737万9,000円で、主に事務費、職員の人件費、夜間警備等の業務委託、電算業務の委託等でございます。

6番、減価償却費は1億1,928万9,000円あります。

7番、資産減耗費は233万8,000円あります。

数字の2番、営業外費用が1,878万8,000円で、内訳としましては、企業債支払利息、消費税等の支払い分でございます。

3番、特別損失は1,000円。

4番、予備費については1,000万円を計上してございます。

続いて右側、4条予算になりますけれども、資本的収入は、事業による起債がなく、支出のみとなっております。

中段より下になります。建設改良費が2,407万7,000円で、内訳としましては、(1)施設費で2,289万円、配水管布設工事、配水ポンプの盤内機器の更新工事でございます。

(2)資産購入費は118万5,000円で、量水器の購入になります。

2番、企業債償還金は5,138万円で、企業債元金の償還であります。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対しての不足分については、当年度分消費税及び地方債消費税資本的収支調整額等で補填するものでございます。

続いて、6ページになりますけれども、これについては3条予算の構成比となっております。



ございます。7ページ、これについては7条予算の構成比となっておりますので、後で  
ご覧おき願いたいと思います。

以上が、平成28年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算、八千代町下水道事業特  
別会計予算、八千代町水道事業会計予算の概要であります。よろしくご審議くださるよ  
うお願い申し上げます。

議長（大久保 武君） 以上で各課長の予算概要の説明を終わります。

これから質疑を行います。

なお、本件は、関係の各常任委員会に付託する予定ですので、質疑は簡潔にお願いい  
たします。

質疑ありませんか。

5番、大久保弘子議員。

5番（大久保弘子君） 一般会計の中身について3つほど質問したいと思います。

歳入のほうで、8ページの款18で繰入金のところですが、先ほどのご説明で、財政調  
整基金より4,742万円というのが計上されているまち・ひと・しごと創生総合戦略の中身  
なのですが、2015年度では、昨年ですね、消費喚起型、生活支援型、そしてもう一つは  
地方創生先行型という形で予算計上されておりました、1つ、消費喚起型ではプレミア  
ム商品券ですね、3,000万円余り。もう一つ、地方創生先行型では事業策定経費となって  
1,000万円計上されておりましたが、28年度の一般会計で計上されております4,742万円  
の内訳、それについて、消費喚起型には幾ら使われて、地方創生先行型には幾らになっ  
ているかというのをお聞きしたいと思います。

また、もう一つですけれども、ページ67ですが、款6項1目6節19ですけれども、負  
担金、補助及び交付金というところで、多面的機能支払交付金負担金というところで  
が、5,571万3,000円計上されておりますが、この目的と用途をお聞かせいただきます。

もう一つですけれども、89ページの款10項2目3節13ですけれども、委託料です。あ  
と、節15工事請負費というところですが、安静小学校のグラウンド改修設計・整備とい  
うのでしょうか……設計・監理委託料、これが200万円で、工事請負費が1,100万円とな  
っていると思うのですが、設計が200万円で工事請負費が1,100万円ということで、なぜ  
この1,100万円の工事でありながら200万円の設計費がかかったのかというところをお聞  
かせください。

議長（大久保 武君） 企画財政課長。

(企画財政課長 青木良夫君登壇)

企画財政課長(青木良夫君) それでは、私のほうから、歳入関係について大まかな回答をさせていただきたいと思います。

先ほどの繰入金でございますけれども、そのうちの27年度と28年度の比較の点かと思うのですが、27年度につきましては、先ほど議員さんおっしゃられましたように、総合戦略のプレミアム商品関係、あるいは総合戦略の計画策定費、先行型ですね、そのほかもろもろの諸事業等がございましたけれども、本年度につきましては、消費関係については積算根拠はございません。あくまでそれは27年度の国の補正予算関係の事業でございますので、今年度の積算の根拠事業につきましては、昨日、全員協議会の中で総合戦略の新規年事業等で説明させていただきましたので、そういった事業の中に充当するような形をとってございます。

以上でございます。

議長(大久保 武君) ほかにご質疑ありますか。

13番、大久保敏夫議員……

(「終わってんのか」「まだ終わってない」と呼ぶ者あり)

議長(大久保 武君) 終わっていない……。

(「多面的なやつで、はい」と呼ぶ者あり)

議長(大久保 武君) 産業振興課長。

(産業振興課長 青木喜栄君登壇)

産業振興課長(青木喜栄君) それでは、予算書の67ページ、農林業費の農業費負担金補助及び交付金の多面的機能支払交付金、こちらにつきまして概略をご説明申し上げたいと思います。

この交付金につきましては、水路、農道及びのり面等の農業を支えます共用の設備を維持管理するための地域の共同作業に支払われる交付金でございます。金額につきましては、その活動組織の受益面積に応じまして決定されているところでございます。

また、交付金の中身は2種類がございまして、農地維持支払交付金、そして資源向上支払交付金と、その2種類がございます。

さらに、農地維持支払交付金につきましては、農地ののり面の草刈り、そしてまた水路の泥上げ、また地域資源の基礎的な保全活動に対しまして支援するものでございます。

また、資源向上支払交付金につきましては、さらに活動が細分化されまして、主なも

のにつきましては、施設の軽微な補修や植栽活動、こちらに取り組む共同活動と老朽化しました水路の更新・補修等の施設の長寿命化のための活動に対して支援するものでございます。

金額的な部分を申し上げますと、農地維持支払交付金につきましては、田んぼが10アール当たり3,000円、畑が10アール当たり2,000円。資源向上支払交付金の共同活動としまして、田んぼが10アール当たり1,480円、畑が10アール当たり880円。長寿命化におきましては、田んぼが10アール当たり4,400円、畑が10アール当たり2,000円というふうな形となっております。現在、町内で9つの地区がこの事業に取り組んでおりまして、そのトータルが5,571万3,000円の予算額となります。

以上でございます。

議長（大久保 武君） 学校教育課長。

（教育次長兼学校教育課長 水書正義君登壇）

教育次長兼学校教育課長（水書正義君） 5番、大久保弘子議員の質問にお答えします。

款10項2の小学校費に計上されております委託料、工事請負費の安静小学校グラウンド整備につきましては、1,300万円ということで予算措置してございます。

詳しい内容につきましては、大久保弘子議員は委員会がございまして、一応ご説明したいと思っております。また、先ほど町長のほうから提案理由等々にございました。よろしくお願いいたします。

議長（大久保 武君） では、ほかに。

13番、大久保敏夫議員。

13番（大久保敏夫君） 最後の質問になるように。92ページちょっと開いてもらいたいですが、学校教育関係で、私も教育民生委員会に来る分野ですので細かく聞く必要もないけれども、ただ最終日の委員長等もあるから論議になりますと聞けませんので、なかなか、同じ委員会で委員長さんというわけにもいかないのですが、しかし、他の議員さんからここは聞いてほしいという部分もありましたので。

学校建設費の中で、東中のいわば事業が9億7,300万円ですか、を超える事業が一般会計で載せられたわけですが、その中に、東中の旧校舎、子どもたちが今学んでいる校舎を壊すための予算が1億円ですか、出されているわけですね。この積算基礎がどのような形で、これは総務課で担当したのか、あるいはまた教育委員会が出してきた数字なのかわかりませんが、1億円という積算がここへ数字、何とはなしに載っかって、

9,780万とか、あるいはまた8,900万というのであれば別ですけども。私はなぜこの場で聞くのかというと、今議員さん方が一番心の中にあるのは、八千代一中の解体工事はあの規模で9,000万……1億を割る数字で9,000何がしでやったと。しかし、現実にはこの9,000何がしで落とした業者が5,000万前後の数字で下請業者を探して歩った、こういう現実があるわけですよ。業界で有名な話だ。八千代一中のこの規模の数字で、では、1億なら1億でいいでしょう。東中のやつね、数字のこの校舎が、規模のものがまた1億だと。ただ、勝手に数字遊びしているのではなくて、この積算基礎を私は知りたい。それを答えてもらえば、教民のあれがありますから後々でいいですから、どういうふうな形で1億円という数字が出てきたのか、それだけ。

議長（大久保 武君） 学校教育課長。

（教育次長兼学校教育課長 水書正義君登壇）

教育次長兼学校教育課長（水書正義君） 13番、大久保敏夫議員の質問にお答えいたします。

中学校費の学校建設費に1億円の解体工事の予算が計上されております。ご存じのように、一中の契約金額が当時としまして約9,200万円をちょっと超えているのですが、それと比較してどう積算したかということかと思えます。一応、事業計画の中で、担当課としまして労務単価等の上昇、あるいは解体撤去工事を含め労務単価、流動的要素がございまして、面積等が小さくても流動的要素があるということで、ヒアリングの中で教育予算として確保した次第でございまして。また、執行段階になれば、これから具体的に実施設計を組んで、契約の執行ということで形になるかと思えます。現時点では、予算額ということでご理解のほどをお願いしたいと思います。

議長（大久保 武君） 13番、大久保敏夫議員。

13番（大久保敏夫君） 次長から話聞きまして、基本的な考え方を述べていただきましたので。しかし、現実、その数字の上げ方、議会あるいはまた町民の血税の中でいけば、なめ切った予算のつくり方。1億円という数字が議会で承認されれば、それに向かう数字が出てくるのですよ。その数字に合わせた形で業者なり、それに向かう設計なり、そういうものを組んでいくのですよ。オーバーしないように、1億円を超えないように、予算を何も9,000万を下回らなくてもいいだろうという数字が出てくるのですよ。私が言いたいのは、ここで二、三千万、少なくとも四、五千万ほど私は違うと思う。それを川西小学校は16名しか今年は入学しない。来年も去年も16人だと。そういう子らも、子ど

もを産むために地域の中に銭を出すぐらいなら考え方持たねえで、流動的だと。いや、いいのですよ。いいではないですか、では、5,000万か6,000万か7,000万で。では、生コンが上がったとか、鉄が暴騰したとか、そういうような話とは違うでしょう、これ。ぶっ壊しても何もなくなってしまう話だよ。私としてはそういうことをね。この積算基礎の部分について物すごい疑念の念を持って、とりあえずね、今話したところでどうなるものでもないし、あなたらの結論出る問題ではないので。ただ、町民の町の中の声、議会の議員の中の心の中にあるものがそういうのだということだけ、よく私なりに伝えておきます。

以上です。

議長（大久保 武君） 14番、湯本議員。

14番（湯本 直君） 一般会計で、財政課長、ちょっと聞くのだけれども、基金の総額と借り入れしている金額とのこれは相異はあるわけなのだけれども、今の現段階から見て、財政指標の推移を見てみると、八千代町が0.56、それから町平均が0.66ということなのだけれども、財政的にはこれで、いろいろな合併等もあって今は町村の数も少なくなっているけれども、とりあえず22年度から26年度あたりの財政指数を表で見てみると、県平均、いわゆるあれは町村平均からでは指数的に少ないのだけれども、借り入れ、これからいろいろな財政的な借り入れをするのに問題点があるかないか、ちょっとお聞きしたいと。

それから、大体、特定財政規模も借り入れしているのに3億ぐらい昨年も今年度もしであるようだけれども、ちょうど交付税が減額されてきているから財政上はきついのかなというふうに思うわけだけれども、この指数が別に問題点がないかあるか、いわゆる財政担当としてちょっとお聞かせ願いたい。

議長（大久保 武君） 企画財政課長。

（企画財政課長 青木良夫君登壇）

企画財政課長（青木良夫君） 湯本議員の質問にお答えしたいと思います。

議員ご指摘の財政指標推移については、予算関係資料の2ページに多分記載してある数字のことかと思うのですが、財政担当といたしましては、やはり予算編成方針でもありますように、厳しい財政状況の中で、当然指数を注視していかなければならない。当然そのためには裕福な財源を確保することが第一であるということであれば、一財をいかにして確保するか、これが一番ポイントになるかと思えます。当然一財の中に

は税込、あるいは国から交付されます交付税が一財として充当されるような形になりますけれども、やはり交付税については国が配分するものでございますので、こちらからなかなか要求は通らないというようなシステムになっております。そのために、町としては、その他一般財源の確保のための税込の確保について、全力を傾注していかなければならないかと思っております。また、当然、財源不足になれば基金取り崩しとか、そういった形で対応するような形になりますけれども、毎年度の決算をしてみても、できるだけ基金の積み立てを残して、翌年度の予算、翌年度以降の予算にできるだけそれを充当できるような形で、固く基金、要するに自由に使える分の不足の部分については基金をできるだけ積み上げて対応していくような形になるかと思っております。起債につきましては、当然勝手に起債は起こさせませんので、その中では当然財政力指標とか、そういったものが国の判断材料になりますので、担当としては、できるだけそういう指標は優良というか、そういう数字に努力していく必要があるかと思っております。

議長（大久保 武君） ほかにご質疑ありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（大久保 武君） これで質疑を終わります。

議案第18号 平成28年度八千代町一般会計予算から議案第25号 平成28年度八千代町水道事業会計予算まで8件については、お手元に配付の付託事項明細書のとおり、各関係常任委員会に分割し、会議規則第46条第1項の規定によって、3月15日までに審査を終了するよう期限をつけて付託したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（大久保 武君） 異議なしと認めます。

よって、議案第18号 平成28年度八千代町一般会計予算から議案第25号 平成28年度八千代町水道事業会計予算まで8件については、お手元に配付の付託事項明細書のとおり、各関係常任委員会に分割し、3月15日までに審査を終了するよう期限をつけて付託することに決定いたしました。

---

## 日程第2 休会の件

議長（大久保 武君） 日程第2、休会の件を議題といたします。

お諮りいたします。議事の都合により、あす9日から13日までは休会としたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（大久保 武君） 異議なしと認めます。

よって、あす9日から13日までは休会とすることに決定いたしました。

---

議長（大久保 武君） 次会は、14日午前9時から本会議を開きます。

本日はこれにて散会いたします。

（午後 零時01分）